

## 志村小・志村四中 小中一貫型学校設置検討会 第２回検討会の開催状況について

### １ 第２回検討会の開催状況

#### （１）検討会の内容等

緊急事態宣言の発令により、第２回検討会は書面開催とした。

##### 《議題》

##### １ 検討会と作業部会の運営について

- （１）新規委員紹介
- （２）作業部会員紹介

##### ２ 志村小・志村四中 小中一貫型学校説明会の概要と意見質問について

#### （２）議事要旨

##### 《議題》

##### １ 検討会と作業部会の運営について

- （１）新規員紹介
- （２）作業部会員紹介

会議資料のとおり、新規委員、作業部会員について、確認した。

##### ２ 説明会の概要と意見質問について

会議資料のとおり、志村小・志村四中 小中一貫型学校説明会の概要、説明会や意見募集の意見・質問について、確認した。

※別紙１：検討会資料３

「志村小・志村四中 小中一貫型学校説明会」と「意見募集」の意見・質問について

### ２ 作業部会の実施

第１回通学区域・通学路作業部会を令和３年５月２６日（水）午後６時３０分より開催した。

### ３ 次回検討会の予定

令和３年７月中旬を目途に開催を予定している。

## 「志村小・志村四中 小中一貫型学校説明会」と「意見募集」の意見・質問について

**1 説明会及び意見募集の実施目的****(1) 説明会の実施目的**

「魅力ある学校づくり協議会（志村小・志村四中）」から教育委員会に提出された意見書の内容や協議経過、小中一貫教育の内容や板橋区の取組、小中一貫型の学校のイメージなどについて、保護者や地域の方を対象に広く知っていただき、期待する点や不安な点などの意見を聞く機会を設定するために実施した。

**(2) 意見募集の実施目的**

新型コロナウイルス感染症等により外出を控えている方や都合により説明会に参加できない方などのために、説明会の資料をホームページ等で公開し、意見や質問を受け付ける機会を設定するために実施した。

**2 周知方法**

説明会と意見募集を実施するにあたり、下記のとおり周知した。

**(1) 説明会周知**

各学校や未就学児の保護者への周知用案内の配付や区内施設のポスター掲示、ホームページやツイッター、子育てナビアプリ等に掲載し、周知した。

（令和 3 年 1 月中旬）

## ●周知用案内配付

配付対象		配付方法等
各小・中学校 （志村四中の通学区域内にある各学校）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・志村小学校</li> <li>・志村第四中学校</li> <li>・北前野小学校</li> <li>・緑小学校</li> <li>・志村坂下小学校</li> <li>・前野小学校</li> </ul>	全児童・生徒に家庭数で配付
各幼稚園・保育園 （志村小と関連のある幼稚園・保育園）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・城山幼稚園</li> <li>・城山どんぐり保育園</li> <li>・サンシティ聖母幼稚園</li> <li>・区立小桜保育園</li> <li>・友和保育園</li> <li>・ひまわりキッズガーデン城山</li> </ul>	
児童館 （志村四中の通学区域内にある各児童館）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・志村児童館</li> <li>・緑が丘児童館</li> <li>・あずさわ児童館</li> <li>・さかうえ児童館</li> <li>・蓮根児童館</li> <li>・蓮根第二児童館</li> </ul>	※各児童館は施設内に 20 部設置

## ●ポスター

下記施設に 1 部ずつ掲示した。

- ・ 周知用案内を配付した学校、幼稚園・保育園、児童館の各施設
- ・ 志村坂上・中台・蓮根の各地域センターとエコポリスセンター
- ・ 志村第四中学校の通学区域内の各町会の掲示板
- ・ 志村健康福祉センター
- ・ 小豆沢体育館
- ・ おとしより保健福祉センター
- ・ 蓮根図書館、志村図書館

## ●記事掲載

ホームページ、ツイッター、子育てナビアプリ、広報いたばしに掲載した。

## (2) 意見募集の周知

説明会の周知と同様に、各学校や未就学児の保護者に周知用案内の配付や区内施設にポスター掲示、ホームページやツイッターに掲載し、周知した。

(令和 3 年 2 月下旬)

※周知用案内とポスターには、説明会の案内も掲載した。

※周知方法は、周知用案内は説明会と同様に実施し、ポスター掲示は志村第四中学校の通学区域内の各町会の掲示板と各地域センター（志村坂上・前野・中台・蓮根）の施設内に掲示した。また、記事掲載は、ホームページとツイッターに掲載した。

### 3 実施結果

## (1) 説明会実施概要

説明会では、冒頭 45～50 分程度、別添「志村小・志村四中 小中一貫型学校説明会資料」に基づく説明を行い、その後質疑応答を実施した。

	開催日時		会場	出席人数
1	令和 3 年 2 月 13 日 (土)	10 時～12 時	志村小学校 体育館	19 名
2	令和 3 年 2 月 20 日 (土)	12 時～14 時	緑小学校 体育館	11 名
3	令和 3 年 2 月 27 日 (土)	10 時～12 時	北前野小学校 体育館	15 名
4	令和 3 年 3 月 5 日 (金)	14 時 30 分～ 16 時 30 分	グリーンカレッジホール 4 階 ホール	18 名
5	令和 3 年 3 月 6 日 (土)	10 時～12 時	志村坂下小学校 体育館	12 名
6	令和 3 年 3 月 13 日 (土)	10 時～12 時	前野小学校 体育館	8 名
7	令和 3 年 3 月 20 日 (土) ※	10 時～13 時	志村第四中学校 体育館	84 名

※説明会は当初、夜間の説明会（2 月 19 日と 26 日の 18 時 30 分～20 時 30 分）を予定していたが、新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言の再発令を受けて中止した。

※3 月 20 日に実施した説明会では、質疑応答を 1 時間延長し、3 時間実施した。

## (2) 意見募集

説明会資料を区ホームページ、新しい学校づくり課窓口、各地域センター（志村坂上・前野・中台・蓮根）の窓口にて公開し、パブリックコメントに準じた形式により実施した。

募集期間：令和 3 年 3 月 1 日（月）～令和 3 年 3 月 31 日（水）【31 日間】

意見数：個人 39 名（FAX8 名、E メール 26 名、郵送 3 名、窓口 2 名）

## 4 ご意見・ご質問の集計結果

## (1) 施設に関すること

(件)

意見・質問	全 体	説明会	意見募集
① 工事期間中の安全面 仮設校舎、騒音や部活動等	24	13	11
② 新校舎（施設一体の小中一貫型の学校） に関すること 敷地・校地・規模感、フロア配置・階段の高さ・プール等	40	22	18
③ 現志村小校舎の安全性	3	3	-
④ 設計に関すること	3	3	-

## (2) 小中一貫型の学校設置に関すること

(件)

意見・質問	全 体	説明会	意見募集
① 施設一体型の校舎の課題等 あいキッズと部活動の関係、学校運営、特別支援学級等	21	17	4
② 通学区域・通学路、学校選択	17	9	8
③ 小・中学校の関係（志村小以外の小学校から志村四中へ進学することの心配）	10	5	5
④ その他 教育内容、学年呼称、学校名等	36	18	18

## (3) これまでの協議内容に関すること

(件)

意見・質問	全 体	説明会	意見募集
① 志村小の跡地活用	7	5	2
② 擁壁調査の委託業者選定	5	4	1
③ 仮設校舎の設置場所 北前野小前の都営住宅跡地等	14	10	4
④ 小中一貫型の学校整備の決定について	5	5	-
⑤ その他	18	16	2

## (4) 今後の板橋区の方針や検討方法に関すること (件)

意見・質問	全 体	説明会	意見募集
① 板橋区の小中一貫型の学校の計画等 板橋区の小中一貫型の学校の計画や板橋区の 小中一貫教育の沿革等	11	9	2
② 教職員や児童・生徒の意見反映	6	6	-
③ その他	4	4	-

## (5) 再検討を望むもの (件)

意見・質問	全 体	説明会	意見募集
① 小中一貫型の学校に対する不安	5	1	4
② 時間をかけた検討	10	4	6
③ その他	10	7	3

## (6) その他 (件)

意見・質問	全 体	説明会	意見募集
① 情報提供 これまでの協議経過等の周知等	8	8	-
② アレルギー・マイノリティの対応	2	1	1
③ 説明会・アンケート・意見募集等	13	12	1
④ その他	14	12	2

## 【参考】全体件数 (件)

	全 体	説明会	意見募集
全体件数	286	194	92

※説明会と意見募集について、同一の人が複数の項目にわたる質問・意見を述べた場合は、それぞれ数えている。

## 5 ご意見・ご質問の概要

ご意見・ご質問の概要については、パブリックコメントに準じて、類似しているものは集約したり、または分割したりしています。

### 1 施設に関すること

No.	分類	意見・質問の内容	質問への回答や検討の方向性
1	工事期間中の安全面（仮設校舎）	志村小学校と志村第四中学校の小中一貫型の新校舎を志村第四中学校の敷地で建設工事を施工することだが、志村第四中学校は工事期間中、仮設校舎になるのか。	現在、基本構想・基本計画については検討中ではありますが、新校舎の配置の仕方によって、仮設校舎の設置の必要性は変わります。 志村第四中学校の敷地においては、首都高側に新校舎を建設することができれば、既存校舎をそのまま利用することができるため、仮設校舎の設置はしない工事も考えられます。
2		仮設校舎と既存校舎の違いとは何か。（仮設校舎には冷暖房が完備されているか等、仮設校舎のクオリティについて）	仮設校舎について、普通教室や特別教室の広さは既存校舎と同じ広さの部屋を用意し、冷暖房を完備する等、基本的に既存校舎と変わらないものを設置します。 既存校舎との違いとして、仮設校舎は一部でもグラウンドを確保する観点から、稼働率の低い部屋については兼用して使用する等があります。 授業運営に支障がないようにしていきます。
3	工事期間中の安全面（騒音や部活動等）	同一敷地内で工事をした際の騒音や振動の対策とはどういうものか。（仮設校舎での授業等に支障はでないか。）	騒音や振動を伴う工事については、例えば授業がない日の施工や夏季休業期間中に集中的に施工したりする等、できる限り授業に支障がないように工事工程を工夫していきます。 また、新校舎配置にもよりますが、工事エリアから仮設校舎をできる限り離して建設することも考えられます。
4		中学生は体育だけではなく、部活動もある。工事期間中は、体育館や校庭が使えない等の支障があると思うが、体育の授業時間数や部活動の活動日数にどのくらい影響があるのか。	近隣の学校の校庭や体育館、区立の体育施設を利用するなど、体育の授業や部活動にできる限り影響が出ないようにしていきます。 現時点では、基本構想・基本計画が決まっていないため、具体的な日数等は、お示しできない状況です。

No.	分類	意見・質問の内容	質問への回答や検討の方向性
5	工事期間中の安全面 (騒音や部活動等)	工事期間中は給食室が使用できなくなると思うが、給食は提供されるのか。もし提供されない場合は、お弁当を用意する必要があるのか。	工事期間中も給食を提供していきます。給食室が使用できない場合は、近隣の学校で給食を作り、その給食を運ぶことを考えています。 最近の実例として、板橋第十小学校が工事を実施した際は、近隣の小学校で作った給食をコンテナで板橋第十小学校に運び、児童に提供しました。
6	新校舎に関すること (敷地・校地・規模感)	志村小学校と志村第四中学校の小中一貫型の学校では、小学校・中学校あわせてどのくらいの学校規模になるのか。	現状の志村小学校と志村第四中学校の児童・生徒数の推移をみていくと、概ね 28 学級から 30 学級程度となり、児童・生徒数は 900 人程度になると考えています。 小中一貫型の学校としての安定的な運営と周辺校の規模の適正化の両方のバランスを見ながら、学校の規模をどう設定していくか検討する必要があると考えています。
7	新校舎に関すること (敷地・校地・規模感)	志村第四中学校の敷地に小中一貫型の学校を設置したら、学校規模が大きくなることで、校庭が狭くなるのではないか。	校庭を広く取るためには校舎を高く設置する必要があります。しかし、校舎を高く設置することでのデメリットもあると思います。 新校舎については、教職員の意見も取り入れながら、様々なパターンを検討していきます。
8	新校舎に関すること (フロア配置・階段の高さ・プール等)	フロア構成について、小学生と中学生で分けるのか、それとも 5、6、7 年生が同じフロアになる等、小学生と中学生が同じフロアになるのか。	板橋区教育委員会事務局の中でプロジェクトチームを設置しており、小中一貫型の学校整備の方針を検討しています。その中で、教職員にもヒアリングを行い、フロア構成について、小学生と中学生で分けるのか、小学校高学年と中学生の一部を同じフロアにするのか検討を進めています。
9	新校舎に関すること (フロア配置・階段の高さ・プール等)	小学校の校舎と中学校の校舎では、階段の高さやトイレの便器の大きさと高さ、教室の大きさは違うのではないか。 小学生と中学生が同じ校舎になる場合、階段の高さ等の違いから事故にもつながると思うので、施設面での配慮について検討してほしい。	公共施設を整備する際には、ユニバーサルデザインの考え方にに基づき、利用者すべてが快適に利用できる環境を目指して整備しています。 現在の改築校では、小学校と中学校の階段の高さはほとんど変わりません。 小学生と中学生では体格差がありますので、ユニバーサルデザインの考え方にに基づき、誰もが使いやすい施設を目指していきます。

No.	分類	意見・質問の内容	質問への回答や検討の方向性
10	新校舎に関する こと (フロア配置・ 階段の高さ・ プール等)	1 年生と 9 年生では体格差があるが、プールを 1 つにした場合、プールの水深等の安全性は大丈夫なのか。	プールの床を可動床にして水深を調整する方法、水深を中学生用に設定したうえで、小学生が利用する時には高さを調整するためのプールフロアを沈める方法などもあります。安全性については確保します。
11		志村小学校と志村第四中学校の小中一貫型の校舎が高層化した場合、災害時に避難する時に時間がかかる等、防災に課題があるのではないか。	校舎の高さについては、これから基本構想・基本計画を検討する中で決まってくるので、現段階で高層化するかどうかは決まっていません。 校舎を高くした場合は、避難経路として垂直方向への移動距離が長くなるため、教室から階段までの横方向への移動距離を縮める等、全体の避難経路が長くないように計画をしていきます。
12	現志村小学校の 安全性	現志村小学校の校舎は改築の時期を迎えているが、新校舎ができるまで、そのまま現校舎を利用し続けて問題はないのか。	現在の計画においては、志村小学校の校舎は令和 8 年度まで利用することになりますが、他の小学校と同じように必要な設備は更新し、安心して使えるように維持管理していきます。
13	設計に関する こと	令和 4、5 年度の設計期間中、志村第四中学校の生徒に影響はあるのか。	設計期間中に地盤調査等の調査を行う必要があるため、調査期間は校庭の一部に使用制限等を行うことがあります。 また、仮設校舎を設置するかどうかで変わってきます。 現在の既存校舎の場所に新校舎を建設する場合、設計期間中の令和 5 年度に仮設校舎を設置する期間が必要になります。 その際には、仮設校舎の設置による騒音やグラウンド利用に影響がある可能性があります。 しかし、首都高側に新校舎を建設した場合には、既存校舎をそのまま使えることにもなるため、設計期間中の影響は出てこないと考えています。



## 2 小中一貫型の学校設置に関すること

No.	分類	意見・質問の内容	質問への回答や検討の方向性
14	施設一体型の校舎の課題等 (あいキッズと部活動の関係)	放課後に体育館や校庭を部活動とあいキッズが利用することになると思うが、施設一体の小中一貫型の学校になった場合、小学生と中学生の活動場所の住み分けに課題があるのではないか。	令和3年度に基本構想・基本計画を策定しますが、その中で新校舎の配置が決まります。新校舎の配置によって、部活動とあいキッズの活動場所がどのようになるか見えてくると考えています。 小学生と中学生が重複することによって事故が起きないように検討していきます。
15	施設一体型の校舎の課題等 (学校運営)	同じ校舎に小・中学生がいる場合、小学生と中学生では授業時間の違いから、小学生が休み時間の時に中学生が落ち着いて学習できるか等、学校運営に課題があるのではないか。	他区の先行事例では小学校から中学校への接続を良くするために、5、6、7年生を同じフロアにしている例もあります。 しかし、中学生の中間考査や期末考査と小学生の休み時間が重なることで、中学生が集中できないのではないかとの声もいただいています。 教職員の意見や他区の小中一貫型の学校の事例も研究しながら検討していきます。
16	施設一体型の校舎の課題等 (特別支援学級)	志村小学校も志村第四中学校も特別支援学級があるが、特別支援学級も2つの学校が1つになることで規模が大きくなることで課題があるのではないか。 特別支援学級の在り方についてどう考えているのか。	志村小学校も志村第四中学校も特別支援学級が設置されています。 視察した他自治体の小中一貫型の学校も小・中学校の両方に特別支援学級が設置されており、9年間切れ目なく特別支援教育をしているところもありました。 令和3年度に基本構想、基本計画を策定しますが、教職員の方にもヒアリングをしながら検討を進めていきます。
17	通学路・通学区域・学校選択	志村小学校の場所が志村第四中学校に移転になることで、通学距離が遠くなる児童がいる。通学区域の検討はするのか。	協議会では通学距離が遠くなる児童もいるので、通学区域を変更した方がいいのではないかと意見もありました。 検討会で、通学区域の変更の必要性についても検討し、通学区域を変更する場合には、関連する学校の校長やPTA関係者にも入っていただき、検討していきます。

No.	分類	意見・質問の内容	質問への回答や検討の方向性
18	通学路・通学区域・学校選択	<p>通学区域外の小・中学校を希望できるのか。</p> <p>(工事期間中に志村第四中学校以外の中学校を希望したいや、志村小学校が志村第四中学校の場所に移転になることで、移転前から志村小学校を希望したい等。)</p>	<p>板橋区では「入学予定校変更希望制」という制度があり、小学校の場合は通学区域と隣接する小学校、中学校は区内全域の中学校に、一定の基準を満たした場合に手続きをすることで、入学予定校の変更を希望することができます。</p> <p>なお、各学校には受入可能数があるため、必ずしも希望した学校に入学できるとは限りません。</p>
19	小・中学校の関係(志村小以外の小学校から志村四中へ進学することの心配)	<p>志村小学校と志村第四中学校が小中一貫型の学校になることで、志村第四中学校に進学する際に、志村小学校と志村小学校以外の小学校から進学することで差が出るなど課題があるのではないか。</p>	<p>協議会の中でも志村小学校と志村小学校以外の小学校から進学することで差が生じるのではないかという意見があり、意見書の中にも「小中一貫型の学校となることで配慮してほしいこと」としてまとめています。</p> <p>既に学びのエリアでの児童・生徒の交流をしており、小・中学校だけではなく、小学校相互の交流は行っておりますが、今後、学びのエリアの連携に関する事項について、教職員の意見も聞きながら検討会で検討していきます。</p>
20	その他(教育内容)	<p>小中一貫型の学校とそうではない学校とで教育内容に違いはあるのか。</p>	<p>施設一体の小中一貫型の学校も、そうではない学校でも、教育内容は同じです。</p> <p>環境的に施設一体の小中一貫型の学校は、教科担任制や相互乗り入れ指導等が他の学校よりも行いやすい環境になります。</p>
21		<p>小中一貫型の学校になることで、6年生が最高学年としてリーダーシップを取る機会が減ったり、小学校の卒業式と中学校の入学式が無くなったりすることで、中学校という新しい環境で挑戦する気持ちを持つ機会が無くならないか。</p>	<p>志村小学校と志村第四中学校は義務教育学校ではなく、小中一貫型の小学校・中学校です。</p> <p>修業年限は既存の小・中学校と同じ、小学校6年、中学校3年となり、入学式・卒業式等、節目の行事があるため、自分の成長を感じる機会や新しくチャレンジしようという気持ちを持つ機会があります。</p>

No.	分類	意見・質問の内容	質問への回答や検討の方向性
22	その他 (学年呼称)	板橋区では、令和 2 年度から全区的に 7、8、9 年生という呼び方になっているが、単純に「9 年生」という呼び方には違和感があり、「学びのエリア 9 年生」というような前に言葉があった方が分かりやすいと思う。	「学びのエリア 9 年生」といった言い方が分かりやすいという意見については、参考として、今後検討していきます。
23	その他 (学校名)	志村小学校と志村第四中学校の学校名は残るのか。 検討会の検討事項に学校名とあるが、どういうことを検討するのか。	協議会から提出された意見書には、志村小学校、志村第四中学校ともに歴史を踏まえて学校名を残すことを検討することとあり、この考えを基本に検討会で検討していきます。 その上で、検討会では統一の学校名の必要性も踏まえて検討することを考えています。 他区の小中一貫型の学校では、〇〇学園といった統一の学校名の後に、小・中学校それぞれの名前を残しているところもあります。(例：〇〇学園 〇〇小学校・〇〇中学校)

### 3 これまでの協議内容に関すること

No.	分類	意見・質問の内容	質問への回答や検討の方向性
24	志村小の跡地活用に関すること	志村小学校の跡地はどうなるのか。第二グラウンド等、何か構想はあるか。	検討会では、志村小学校の跡地活用に関する要望については、検討していきます。 ただし、志村小学校の土地は、神社側の土地約 6 割が借地で、令和 9 年度に志村小学校の既存校舎を解体した上でお返しすることになっています。 協議会から提出された意見書には、跡地活用について、児童・生徒、地域のための活用や、安心・安全のための防災機能、地域の活性化に資するよう配慮することという内容でまとめられています。この意見書の方向性に沿って、検討会の中で検討し、検討会の中で出た意見、要望を所管する部署に報告していきます。

No.	分類	意見・質問の内容	質問への回答や検討の方向性
25	擁壁調査の委託業者選定	志村小学校の擁壁調査や現校地での改築のシミュレーションを1者をお願いしたと聞いているが、複数の業者をお願いし、検討はしなかったのか。	志村小学校の擁壁の調査委託を行うにあたり事業者の技術力を担保するために、条件付きの一般競争入札を実施しました。条件付きの一般競争入札を実施し、その中の1者を選定していくという選定方法は適正な方法であったと考えています。
26	仮設校舎の設置場所 (北前野小前の都営住宅跡地等)	北前野小学校の前の都営住宅跡地を志村小学校の仮設校舎の代替場所として使用することはできないのか。	東京都に板橋区の改築計画についてお伝えしたところ、活用用途がすでに決まっているとの回答であったため、板橋区としては、代替場所として土地を借りることは難しいと考えました。 なお、跡地活用については、東京消防庁の訓練場の建設を予定しており、令和3年度から令和7年度頃に設計、工事、令和8年度頃に本格運用の開始を予定しているとのことです。
27	小中一貫型の学校整備の決定について	志村小学校と志村第四中学校の小中一貫型の学校にすることは決定したことなのか。	協議会では志村小学校を現校地に残せないか議論してきました。 しかし、工事期間中の児童の安全性に課題があること、志村小学校の現校地での改築の場合、工事期間が6年間と長期化し、入学してから卒業まで仮設校舎の環境になることが分かりました。 そのため、協議会では、小中一貫型の学校を整備するという方向性の協議結果を意見書にまとめ、教育委員会に提出しました。 意見書の内容については、令和2年11月25日の教育委員会において、意見書の実現に向けて進めていくことで決定しており、区として志村小学校と志村第四中学校を小中一貫型の学校として整備するという方向性で進めていきます。

No.	分類	意見・質問の内容	質問への回答や検討の方向性
28	その他	志村小学校をなぜ板橋区で一番初めに小中一貫型の学校にするのか。	<p>板橋区では、学校施設の老朽化対策と学校の規模と配置の適正化を進める「いたばし魅力ある学校づくりプラン」に基づき、協議会を設置し、学校の施設整備について協議を進めることになります。</p> <p>また、板橋区では、平成 29 年の「小中一貫教育に関する検討会」の検討報告書の中で、改築期を捉えて、小中一貫型の学校整備については検討していくという方向性があります。</p> <p>志村小学校の現校地での改築は、工事期間が 6 年間と長期化すること、工事期間中の児童の安全性に課題があることが分かりました。そのため、協議会では、小中一貫教育の視点を取り入れて協議した結果、志村小学校と志村第四中学校を小中一貫型の学校として整備するという結論に至りました。</p>

#### 4 今後の板橋区の方針や検討方法に関すること

No.	分類	意見・質問の内容	質問への回答や検討の方向性
29	板橋区の小中一貫型の学校の計画等	今後、板橋区では施設一体の小中一貫型の学校の整備計画はあるのか。	<p>現在、板橋区では志村小学校と志村第四中学校以外に、具体的にどこの学校を施設一体の小中一貫型の学校にするという計画はありません。</p> <p>区立学校の配置につきましては、小中一貫型の学校の配置も含め、「いたばし魅力ある学校づくりプラン」の中でお示ししていくべきと考えています。</p> <p>次期「いたばし魅力ある学校づくりプラン」は、令和 8 年度から令和 17 年度が後期計画になりますが、令和 3 年度には前期計画の検証に着手し、令和 6 年度を目途に後期計画の検討を進めていく過程において、小中一貫型の学校の配置につきましても板橋区の考え方をお示しする予定です。</p>

No.	分類	意見・質問の内容	質問への回答や検討の方向性
30	教職員や児童・生徒の意見反映	教職員や児童・生徒の意見を取り入れてほしい。	板橋区では令和 3 年度に基本構想・基本計画と板橋区の小中一貫型の学校の整備方針を策定する予定です。この策定の中で教職員にヒアリングを実施していきます。 今後、具体的な学校整備を検討する際には教職員や児童・生徒の意見を聞きながら検討を進めていきます。
31	その他	今後の検討でお願いしたいこととして、理想論だけでなく現実的なことを一番に考えて検討してほしい。	理想論だけではなく、実際に教育現場に関わっていただいている教職員の意見も聞きながら、小中一貫型の学校の検討を進めていきます。

## 5 再検討を望むもの

No.	分類	意見・質問の内容	質問への回答や検討の方向性
32	小中一貫型の学校に対する不安	他自治体で施設一体の小中一貫型の学校を開校後に、その後、小学校と中学校の校舎を分離した例もあると聞いている。 他自治体の失敗例もあるため、もう一度再検討してほしい。	他自治体の例では、小中一貫型の学校に問題があった訳ではなく、マンション開発による急激な児童・生徒数の増加に対応するため、施設一体型から施設分離型になったと分析しています。
33	時間をかけた検討	小中一貫型の学校を整備するにあたり、専門家の視点を取り入れて精査してから、検討した方がいいのではないか。	板橋区では平成 29 年度に小中一貫教育に関する検討会において、保護者代表者や学識経験者、小・中学校の校長等、教育現場の方が検討委員として検討しております。 学校の改築に際し、具体的な検討をしていく段階では、教職員の方の意見を聞きながら検討していきます。

No.	分類	意見・質問の内容	質問への回答や検討の方向性
34	その他	小中一貫型の学校に不安の声もあるが、このまま志村小学校を現校地で改築せず、志村第四中学校と小中一貫型の学校として整備する方向性で進めていいのか。	<p>工事期間については平成 30 年に設計業者に委託した調査結果と現校地の状況等を考慮し、現校地での改築には 6 年間かかると判断しました。</p> <p>協議会では、工事期間についてご説明し、協議会委員の皆様も志村小学校を残したいという気持ちはありましたが、工事期間の長期化や工事期間中の子どもたちの安全面の課題があることから、子どもたちのことを考え、小中一貫型の学校として整備していくことで、志村小学校の改築の課題を解決するという方向性がまとまりました。</p>

## 6 その他

No.	分類	意見・質問の内容	質問への回答や検討の方向性
35	情報提供	工事期間中に在学する子どもたちに少しでも早く、具体的で安心できる内容を伝えてほしい。	<p>志村小学校と志村第四中学校との小中一貫型の学校の具体的な内容については、検討会等で検討を進めていきます。</p> <p>検討の進捗については、検討会ニュース等でお知らせしていきます。</p>
36	アレルギー・マイノリティの対応	現在いろいろなアレルギーを持っている方や、性的マイノリティの方もいる。制服や着替え、トイレ等、マイノリティに対応できるように検討してほしい。	改築する学校に限らずアレルギーやマイノリティに対する配慮というのは必要になってくると考えています。このようなご意見についても、配慮しながら進めていきます。

No.	分類	意見・質問の内容	質問への回答や検討の方向性
37	(説明会・アンケート・意見募集等) その他	令和 2 年 9 月に実施されたアンケートでは未就学児の保護者として幼稚園・保育園の保護者を対象としていたが、もっと幅広い保育園にアンケートを取った方が良かったのではないかな。	アンケートに関しては、協議会の中でアンケートの内容や対象について検討しました。 アンケートの対象とする幼稚園・保育園は、協議会でもっと対象を広げた方が良いとの意見があったため、当初の予定より多くの保育園にアンケートを実施しました。また、協議会では、アンケートの実施目的は、小中一貫教育や小中一貫型の学校に関し、総体的にどういう意見が多いのか傾向をつかむために実施するということが決まったため、その目的に基づき実施しました。
38	その他	小中一貫型の学校は、中学生になる際に児童・生徒の個性等をスムーズに把握・伝達でき、その子どもの特性に応じたフォローもしやすくなると考える。 いじめの問題等があると思うが、スクールカウンセラーを利用しやすい環境整備が重要である。小・中学校で一貫して相談できれば、より個別対応もしやすくなるのではないかな。	いただいたご意見については、検討会で検討するとともに、教育委員会事務局内で検討していきます。
39	その他	9 年間の義務教育期間を一つの敷地にすることで、上下関係を築く経験ができる良い環境になると思う。 また、兄弟(姉妹)がお互いの行動を把握しやすくなると思う。例えば、部活動を終えた中学生とあいキッズに在籍している弟妹が一緒に帰宅することで、働く親の負担や一人で帰宅させる不安も軽減されるのではないかな。	いただいたご意見については、検討会で検討するとともに、教育委員会事務局内で検討していきます。



## 6 まとめ

今回いただいたご意見とご質問の半数が「施設に関すること」と「小中一貫型の学校設置に関すること」でした。

施設に関することについては、工事期間中の安全面や新校舎に関するご意見・ご質問が多くありました。工事期間中の安全面に関しては、授業等に支障がないように十分に配慮します。新校舎に関しては、教職員の意見や今回いただいたご意見等も踏まえて検討を進めていくとともに、ユニバーサルデザインの考え方にに基づき、小学生も中学生も誰もが使いやすい学校施設を目指していきます。

小中一貫型の学校設置については、施設一体型の校舎の課題等（あいキッズと部活動の関係、学校運営等）や通学区域・通学路、学校選択に関するご意見とご質問が多くありました。教職員の意見や今回いただいた意見も踏まえ、他区の先行事例を研究しながら、検討会等で検討を進めていきます。

今回いただいたご意見・ご質問は、今後の具体的な検討に生かしていきます。